

## 施策評価調書(23年度実績)

施策コード II-5-(2)

政策体系	施策名	国際人材の育成	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	109
	政策名	海外戦略の推進	関係部局名	企画振興部、教育庁		

### 【 I . 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	国際人材教育の推進	県内留学生等との交流	外国の児童生徒等との交流	訪日教育旅行の受け入れ

### 【 II . 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)											
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125							
i	留学生等との国際交流活動を実施した小学校の割合(%)	①②	H22	26.2	29	29	100.0%	50	100											
ii	訪日教育旅行受け入れ者数(人/年)	③④	H20	1,686	500	503	100.6%	2,277	2,500											

### 【 III . 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	平成27年度には県内全ての小学校が留学生等との国際交流活動を行えるよう、大学キャンパスへの訪問か留学生等の招聘を計画的に実施したことにより、目標値を達成することができた。	達成
ii	達成	東日本大震災等の影響で訪日学校数が減少する中、日本政府観光局主催の訪日台湾教育旅行現地説明会に職員を派遣し安全性をアピールしたほか、中国、韓国向けのパンフレットを作成して関係機関に配布するなどの売り込みを行った結果、目標値を達成することができた。	

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	(指標により評価)
②	・66名の外国語指導助手(ALT)をはじめ、留学生や地域人材が小学校の外国語活動の授業に参加した。その内7市町の小学校では26名のALTがほぼ毎時間訪問し、授業内容の充実を図った。
③	・県教育委員会と韓国忠清南道教育庁との教育・文化・スポーツ等に関する友好交流宣言締結により高校生による文化、スポーツ交流を継続して実施し、国際理解教育を推進している。
④	・教育庁チャンネルで訪日教育旅行の現場を放映することにより、学校側の訪日教育旅行に対する理解を深めた。

#### 【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 JET青年交流推進事業	現状維持	—	16,774
②	1 国際化推進事業	見直し(24年度)効率化の推進	—	31,148
③	1 海外戦略総合対策事業	現状維持	17	38,262
④	1 緊急雇用訪日教育旅行推進事業	終了(24年度末)	18	4,550

#### 【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～④の全てにおいて、順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の文化、考え方を理解させる学校教育への外国語指導助手や留学生等の活用</li> <li>・外国人指導助手や留学生等を活用した国際交流活動の拡大強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日教育旅行にかかる海外教育機関等への広報と受け入れのための県、市町村(教育委員会)の連携強化</li> </ul>

#### 【VII. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会</p> <p>・国際人材を育成するためには、英語は必須であり、インターナショナルスクールの設置を考えてはどうか。(H23.5)</p>	<p>・外国語の習得の基本は日本語の習得にあり、大分の文化を基本としたうえで国際人材の育成に取り組んでもらいたい。(H23.7)</p>
---	--

#### 【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度から3年計画で、小学生国際交流推進事業(留学生との交流会等)を実施することにより、各学校における国際交流活動の取組をさらに促進する。</li> <li>・訪日教育旅行では、中国、韓国等からの誘致に積極的に取り組むとともに、学校現場を熟知したコーディネーターを配置して受け入れ態勢の充実を図る。</li> <li>・海外戦略に定める重点国・地域との交流を推進するための人材を育成する。</li> </ul>